

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項			
施設名称	多摩川緑地バーベキュー広場	評価対象年度	令和6年度
事業者名	・事業者名 多摩川緑地バーベキュー広場共同事業体 ・代表者名 太平洋総業サービス株式会社 代表取締役 飯島 一浩 ・住所 川崎市川崎区藤崎3丁目7番6号 ・構成員名 株式会社サンワックス ・住所 代表取締役 野原 治人 埼玉県熊谷市間屋町2丁目5番13号	評価者	みどり・多摩川事業推進課課長
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	所管課	建設緑政局緑政部 みどり・多摩川事業推進課

2. 事業実績	
利用実績	6年度の総利用者数は34,544人(免除対象者3,234人含む。)となった。 ※8月30日～9月13日は冠水による休場 【参考】5年度の総利用者数は37,533人(免除対象者2,927人含む。)
収支実績	【6年度の収支実績】 ○収入の部 85,282,100円 (利用料金・レンタル事業収入 79,739,500円 提案事業収入 5,542,600円) ○支出の部 87,946,733円 (管理運営経費 86,985,310円 提案事業経費 961,423円) ○収支差額 -2,664,633 円 【5年度の収支実績】 ○収入の部 93,589,400円 (利用料金・レンタル事業収入 88,892,200円 提案事業収入 4,697,200円) ○支出の部 91,468,218円 (管理運営経費 90,016,500円 提案事業経費 1,451,718円) ○収支差額 2,121,182 円
サービス向上の取組	○事前予約制を継続実施することで、駅前混雑緩和・迷惑行為の軽減を図るとともに、より幅広い世代の利用につなげ、小学生以下の子供の利用が増えた(利用率30年度6.0%→6年度8.6%)。 ○地元アンケートについて、6年度はイベント告知を裏面印刷する工夫を加えることで、回答数が増えた(5年度113→6年度168)。 ○地域農業者支援や環境保全のため、地域の農業者から本来お金をかけて処分する剪定枝を買取り、薪として使うなどした。 ○近隣商店街や地域のイベント等について、スペースの貸出・資機材の無償貸与等によるイベント支援・協力や、フリーマーケット・ワークショップを中心としたイベントの開催により、地域活性化に貢献した。

評価					
分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	周辺住民及び利用者満足度を把握する調査を実施しているか。	10	4	8
		周辺住民及び利用者ニーズ等を適切に分析しているか。			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか。			
	適切なサービスの提供	施設の目的にあった取組が実施されているか。	10	4	8
		当初の事業目的を達成することができたか。			
	(評価の理由)				
	【利用者満足度】 ○地元アンケートで集約した意見にもとづき、6年度はアンケートの裏面にイベントの広告をする工夫をしたことで、アンケートの回答数が増えた(回答数5年度113→6年度168)とともに、イベントを広く周知することができた。 ○利用者に対して行っているアンケート調査の結果、「BBQは楽しめましたか」という項目に関して、「大いに楽しめた」「楽しめた」「そこそこ楽しめた」が100%、「楽しめなかった」0%との回答が得られた。 ○事前予約制の継続実施等により、コロナ前と比較して子供の利用率が増え、幅広い世代の利用につながっている。 子供(小学生)の利用率…30年度6.0%→6年度8.6% ○周辺住民に対するアンケート調査を行う、地域イベント協力を通じて地域の方とコミュニケーションを取るなど、地域ニーズを把握している。駅前混雑緩和・迷惑行為の軽減や幅広い世代の利用につなげるため、駅前誘導や駅周辺清掃活動、バーベキュー利用の事前予約制度の継続を行っている。 ○地域貢献のため、資機材の提供等により、多くの地域イベントを支援した。また、3月にフリーマーケット・ワークショップを中心としたイベントを開催し約500人もの来場があった(2日開催中1日は雨天中止)。 【適切なサービスの提供】 ○バーベキュー広場の感染拡大防止対策として始めた事前予約制については、適切な施設サービスの提供や駅前の混雑緩和につながるため、引き続き継続した。 ○利用者の少ない12～2月の平日を休場し、地域住民のための一般開放日とした。 ○休場期間も含め、24時間警備員を配置し巡回警備を行い、河川敷での迷惑行為やトラブルを未然に防いだ。また、6年度は場内で大きな事件・事故が1件も発生しなかった。				
	収支の適格性	計画的な収入によって、市民サービスの向上に反映できているか。	5	3	3
		支出の効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか。	5	3	3
		金銭管理や会計処理が適切に行われているか。	5	3	3
(評価の理由)					
【収支の適格性】 ○当年度は、増水による休場に伴い、当初計画の収入は見込めなかったが、管理コスト削減に取り組んだ。 ○8月下旬の冠水で使用できなくなった消耗品等の購入に経費を要したが、経費削減の取組として、12～2月の平日休場を実施しつつ、配置人員数を適切に調整することで、利用者サービスを損なうことなく人件費や本社管理費の削減及び支出の効率的な執行に取り組んでいた。また、備品の破損があった場合は既存の材料等を使って、スタッフが修復するなど、極力買替えや外注をせず節減した。 ○毎月行われる定例報告の際に収支報告も行われており、会計処理及び金銭管理は適正に行われていると認められる。					

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか。	8	4	6.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか。			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか。			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。	8	4	6.4
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか。			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか。	9	4	7.2
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか。			
	【評価の理由】 【適切なサービスの提供】 ○昨年度開始した、大人数の利用者に対応する企業団体プランを継続して実施し、計55組の利用があり、大人数で利用したいという利用者ニーズに応えた。また、駅前混雑緩和等に効果的であった10時～15時と11時～16時の2部制や事前予約制を継続して行った。いずれも、市と綿密な協議の上で検討し、適正に業務を執行した。 ○市と適宜連絡調整を行った上でホームページ等での広報を適時かつ十分に実施した。フリーマーケット・ワークショップを中心としたイベントを開催する際は、地域住民アンケート裏面にイベント告知を掲載し各戸ポスティングすることで、周辺地域に周知した。 【業務改善によるサービス向上】 ○施設近隣の住民に対してのアンケート調査を実施し、ニーズ把握、属性集計を行った。今後の広場の利活用方法検討を目的とした設問を組み込むことで適切な課題把握に取り組んだ。 ○地元アンケートの裏面にイベントの広告をする工夫をしたことで、アンケートの回答数(回答数5年度113→6年度168)が増えた。 【利用者の意見・要望への対応】 ○利用者ニーズに応えるため、薪の販売、薪ストーブ・焚き火台のレンタル等を継続して行っている。また、利用者がレンタルしやすいよう、レンタル金額を2,000円から1,500円に値下げした。				
	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか。	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか。			
再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか。				
担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか。	4	3	2.4	
安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)。 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか。	10	3	6	
コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか。	3	3	1.8	
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか。				
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか。	4	4	3.2	
組織管理体制	【評価の理由】 【適正な人員配置】 ○事前予約制により、システム上であらかじめ利用人数を把握することができ、その利用人数に合わせた適切な人員配置を行ったことにより、円滑な施設運営につなげることができた。 【連絡・連携体制】 ○毎月の定例報告や四半期ごとの報告に限らず、所管課との連携が適宜十分に取れている。 【再委託管理】 ○警備等の委託先との調整は適切に実施されており、円滑な業務の履行がなされている。 【担当者のスキルアップ】 ○指定管理者制度や個人情報、SDGs、危機管理等の基本事項を学ぶ研修を実施し、従業員のスキルアップを促した。 【安全・安心への取組】 ○8月に、消火器を用いた消火訓練及び災害発生時を想定した避難訓練を実施した。当広場は二子橋に隣接するため、地震の際の倒壊に備え、効果的な避難方法を指導した。 ○8月に夜間の急な増水により冠水があったが、常に冠水リスクを想定し、撤去から復旧までのマニュアルを作成し、迅速かつ安全に対応できるようにしていた。 ○大きな事件・事故は1件も起きなかった。 ○危険箇所等を示したハザードマップを場内に掲示し、注意喚起した。 【コンプライアンス】 ○個人情報保護の取組として、情報保管場所への入室制限、個人情報データの持ち出し・複製等の制限など、個人情報取扱に関するマニュアルを明確に定め、ルールを遵守している。 【職員の労働条件・労働環境】 ○作業報酬台帳を適切に管理しており、最低賃金を上回った上で、適切な労働条件及び労働環境が整備されている。 【環境負荷の軽減】 ○事業系の一般廃棄物として処分等しているナシの剪定枝を、地域のナシ農家から焚き火用の火種として一部買い取ることで、地域農業者を支援するとともに環境保全に繋がる取組を行った。 ○使用済みロウソクを再利用して作られた着火剤を購入・利用し、場内で取組の広報を行った。				

適 正 な 業 務 実 施	施設・設備の 保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検 や整備等を適切に実施しているか。	4	3	2.4
	管理記録の整 備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されている か。			
	保安業務	事件・事故・犯罪等を未然に防いでいるか。	4	4	3.2
	外構・植栽管 理	草刈等維持管理を適切に実施しているか。	4	3	2.4
	清掃業務	施設内及び敷地内の清掃が適切に行われ、快適に利用できる環境 を維持しているか。			
	ごみ管理	利用者が廃棄するバーベキューごみを適切に処理しているか。	3	3	1.8
(評価の理由) 【施設・設備の保守管理】 ○設備の点検を綿密に実施した上で、安全な利用に支障をきたすことがないよう施設内整備を行っている。 ○8月に夜間の急な増水により冠水があったが、緊急の際も迅速な対応ができるよう、地元運送会社と連携体制を確 立している。 【管理記録の整備・保管】 ○施設内及び駅前・商店街の巡視や24時間の警備等、管理業務の実施状況を毎月の定例会の際に漏れなく適切 に報告が行われている。 【保安業務】 ○日中に限らず夜間を含め、毎日24時間警備を行っており施設周辺地域を含めた見回りを実施した結果、多くの方 への声掛けによって迷惑行為を事前に防ぎ、当年度は大きな事件・事故が1件も発生しなかったことから、取組成果 が認められる。 【植栽管理】 ○場内の草刈りを適宜実施し、植栽・安全管理を適切に行っている。 【清掃業務】 ○施設営業中の清掃活動として、営業中及び終了後に施設内・河川敷の清掃を行っており、毎月第3金曜日を休場 日として施設整備日を設けており、その日には河川敷に限らず駅前・駅周辺まで適宜清掃活動を実施している。 【ごみ管理】 ○利用者に対して管理施設外へごみを持ち出さないよう注意喚起するとともに、適切にごみの収集、運搬、処理を 行った。					

4. 総合評価

評価点合計	70.6	評価ランク	B
-------	------	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準（評価点合計）
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。（80点以上）
B	総合評価の結果、優れていると認められる。（70点以上80点未満）
C	総合評価の結果、適正であると認められる。（60点以上70点未満） ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。（50点以上60点未 満）
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。（50点 未満）

5. 事業執行（管理運営）に対する全体的な評価

大人数での利用ニーズに対応する企業団体プランや、事前予約制並びに利用時間の2時間切り上げを継続することで、近 隣住民の帰宅時間回避等により駅前混雑を緩和をすることができた。また幅広い世代の利用につながった。これらの取組に より、6年度も適正に施設運営を執り行うことができたと認められる。 また、閑散期平日の広場の一般開放や、近隣イベントへの支援・協力、フリーマーケット等のイベント誘致、市内農家からの 剪定枝買取等の取組により、地域活性化や地域支援を行った。 以上のことから、全体的には優れた成果を上げたといえる。
--

6. 来年度の事業執行（管理運営）に対する指導事項等

引き続き地域賑わい創出イベントを実施し、近隣住民をはじめとした様々な方に足を運んでもらい、多摩川及び施設周辺 の地域活性化につながるよう、施設運営を継続してもらいたい。また、閑散期も場内で楽しめる使い方やイベント利用等を検 討し、より多くの利用者が見込まれるような取組を検討してもらいたい。 地元アンケートについては、6年度はイベント告知を裏面印刷する工夫を加えることで回収数が増えているため、引き続き 効果がある取組は継続してもらいながら、地域・利用者ニーズを把握し、市と協議しながらより良い施設運営に向けて取り組 んでいただきたい。一方で同アンケートについて、自由記載の記入数が減っているため、設問を再考するなど検討してもらい たい。
